

2008シーズン応援ありがとうございました

2003年以來の準々決勝での敗退という結果に終わった今シーズン。皆様の期待に添えず誠に申し訳ございませんでした。来期以降に向けてチーム強化の仕組み自体を見直し「真に強いチーム」づくりに取り掛かる所存です。

オービックシーガルズ監督 並河 研



第5節：オービック13-17 鹿島ディアーズ 11月2日(日) 横浜スタジアム

全勝対決の最終戦は惜敗 ディビジョン2位でファイナル6へ

リーグ最終戦となる第5戦は11月2日(日)横浜スタジアムで鹿島ディアーズと対戦。これまでの戦績は両チームとも4戦全勝で、ディビジョン優勝をかけた一戦となりました。

前半は10-10と互いに譲らない接戦。後半は第3クォーターに逆転されて追う展開に。4点差を追う第4クォーター、QB#4木下からWR#83清水へ逆転のタッチダウンパスが決まったかに思われましたが、

協議の結果、判定はパス失敗。オービック側の抗議により審判団で約10分間協議されましたが、判定は覆らず。次の攻撃シリーズでも一度ゴール前まで攻め込むも最後はインターセプトを喫し、オービック13-17鹿島で試合終了。リーグ戦は4勝1敗で2位となりました。なお、この試合のハーフタイムでオービックシーガルズ歴代ベストイレブンが発表されました。



先制TDを決めたRB #23 古川



K#1 金親のFGキック



幻のTDとなったWR#83 清水のパスキャッチ

ファイナル6：オービック14-20 パナソニック電工インパルス 11月16日(日) 長居球技場

再三のチャンスを生かせず、 Final6一回戦で無念の敗退

Final6一回戦は11月16日(日)長居球技場でパナソニック電工インパルスと対戦。昨シーズンのFinal6準決勝ではタイブレークの末に敗れており、チームで一丸「圧勝」を掲げて試合に臨みました。前半は14-7でオービックがリード。しかし後半第4クォーターに逆転され、そのままオービック14-20パナソニック電工で試合終了。昨

年の雪辱を果たすことはできずに2008シーズンは終了となりました。ファーストダウン獲得数ではパナソニック電工18回に対し、オービックは22回と上回りましたが、3つのインターセプトや、パナソニック電工の倍以上の13回の反則などで再三のチャンスを生かすことができず、来季にむけての課題も残る試合となりました。



WRをマンツーマンカバーするDB#13 里見



バスターゲットを探すQB#4 木下



RBにタックルするDL#11KJと#52 庄子

メインスポンサー

システムインテグレータの **オービック**

オフィシャルスポンサー



オービックシーガルズマンスリーレポート 11月号

発行人/並河 研
編集/渡部 滋之
制作・デザイン/高木 慶太
文・写真/藤田 義生
発行/株式会社 OFC
〒104-0061 東京都中央区銀座1-19-16 銀座昭和ビル 3F
Tel.03-3567-1313
Fax.03-3567-1312
<http://www.seagulls.jp>